

## ◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が、1例(男性, 70歳代)あります。症状は発熱・呼吸困難・肺炎です。推定感染地域は国内で、推定感染経路は水系感染です。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.37(56例)で、前週 0.68(28例)より増加し、過去5年平均値を大きく上回っています。今後の動向にご注意ください。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は24.12(1,616例)で、第1週(平成24年12月31日～平成25年1月6日)に流行の指標である1.0を上回り、その後、急増しています。詳細をトピックスに掲載していません。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 6例(肺結核 5例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 4例  
【1月以降の累積報告数 16例(肺結核 11例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- ・ 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点67, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	24.12	1616
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.07	290
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.37	56
	③ 水痘	1.29	53
	④ RSウイルス感染症	0.27	11
	④ 突発性発しん	0.27	11
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

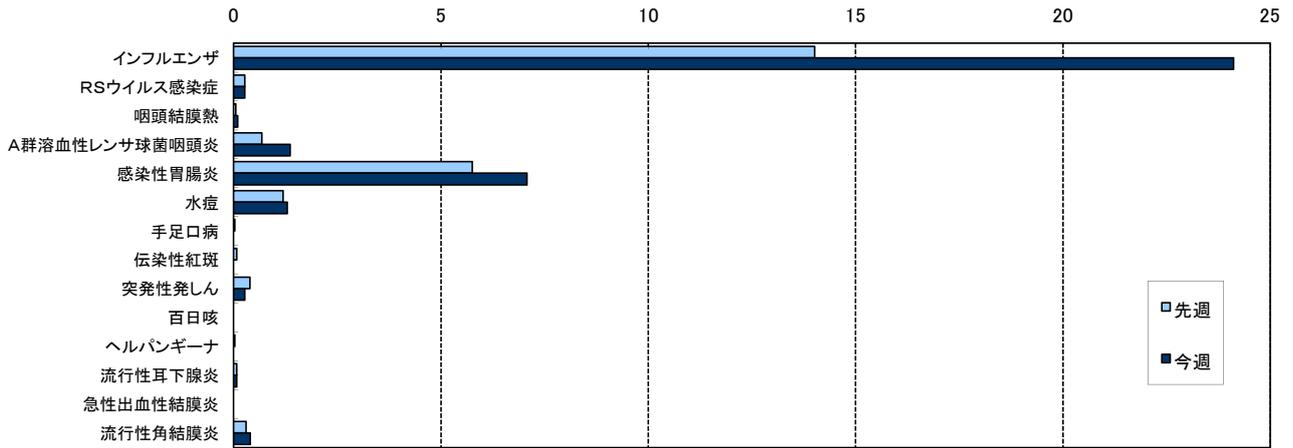
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成25年1月31日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

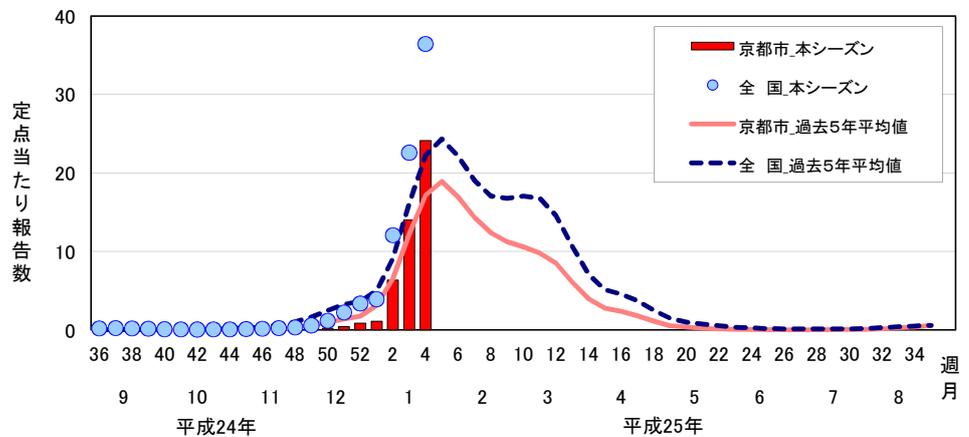
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第4週)と先週(第3週)の定点当たり報告数の比較



## 2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第52週	58
第1週	73
第2週	425
第3週	939
第4週	1616
累積報告数 (第36週以降)	3167



\*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

